

肢体不自由教育における ICT 機器の活用と DropTone 体験会



講師：青木 高光 氏 (さやか星小学校 校長/ドロップレット・プロジェクト 理事/文部科学省 DX 戦略アドバイザー)

「表出は難しいんですけど、内言語は豊かなんです。」ということはありませんか？表出の手段を準備できていないのに教師が勝手に本人の内面を決めつけて、代わりにお話ししている風な場面（帰りの会の感想発表など）はありませんか？等、ちょっとドキリとする切り口から、青木先生が実際に機器を使って本人の表出を保障してきた実践を聞かせていただきました。お話を聞く中で、学校在学中にどのような経験や学びが必要であるか、考えさせられる研修でした。

また、本物の音色にこだわった音楽アプリ「DropTone」のご紹介もいただき、実際に触らせていただき、音楽や余暇の可能性を見出すことができました。



身体の動かし方と介助の基本

講師：みちのく療育園メディカルセンター 理学療法士 石ヶ森友佑氏

外部専門家相談でいつもお世話になっている石ヶ森 PT に、肢体不自由のある子どもたちと日々関わる上で必須になる『身体の触れ方・動かし方・抱き方』『ポジショニング』の初歩を、実技の中で教えていただきました。「手のひらで触れる」「動かす関節近くを支えて動かす」「膝ではなくお尻と腰を支えて抱く」など、翌日からの支援に役立つポイントを得ることができました。ポジショニング体験では、身体の隙間をタオルで埋めた後に、タオルを抜くと…、ふっと力が抜ける感覚を味わいました。教えていただいた事項を踏まえて指導支援を行い、困った事は外部専門家の先生方にお聞きできればと思います。



令和8年度研修計画について

時期	内容(仮)	講師	対象
4月	自立活動研修「自立活動の個別指導計画作成について」 ・課題関連図と中心課題設定→指導内容と評価	自立活動部	本校職員
6月	「身体の発達、身体への触れ方動かし方」	みちのく療育園メディカルセンター 石ヶ森友佑先生	本校職員
7月	「摂食嚥下機能の発達」	岩手医科大学歯学部 準教授 熊谷美保先生	本校職員 教育関係者
7月	「感覚の発達、遊びの発達」	アクティブキッズ 三上詩織先生	本校職員 教育関係者
7月	「医療的ケア児への対応について」	マリオス小林内科クリニック 中田隆文先生	本校職員 教育関係者
8月	「排泄について」	日本コンチネンス協会会員 排泄ケア専門員 堀切ひろみ氏	本校職員
10月	「ICF の理解」	岩手県立療育センター 藤村勇人先生	本校職員
2月	自立活動の指導・実践事例交流会	自立活動部	本校職員